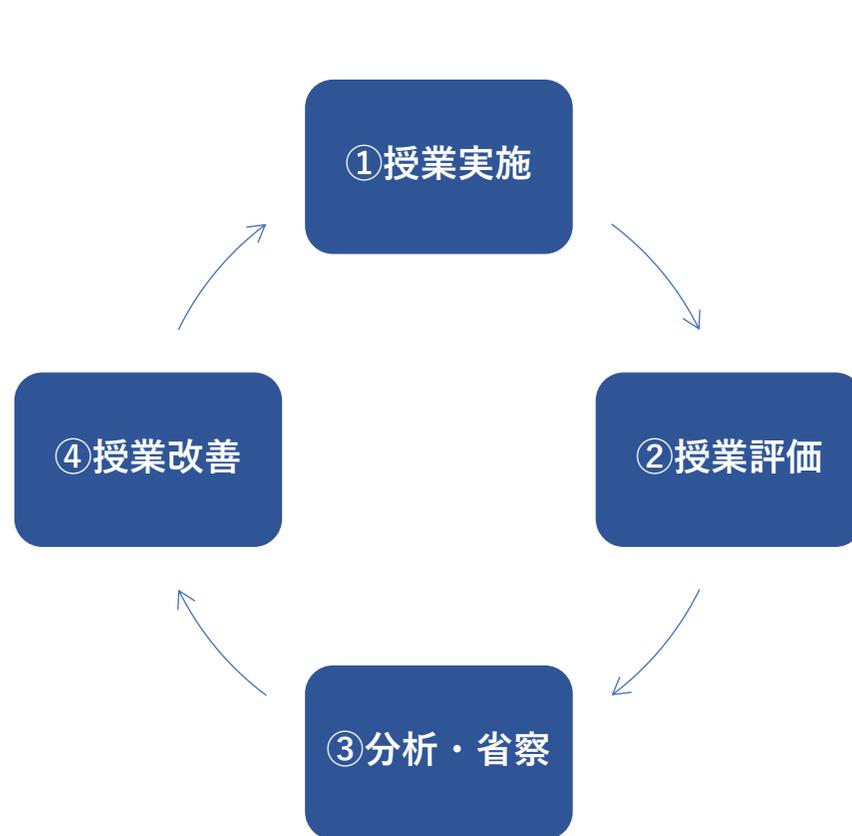


九州共立大学の教育改善の仕組み

本学では、学是「自律処行」に則り、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる人材を育成するため、教育活動の質の向上に向けて以下のとおり、取り組んでいます。



①授業実施

本学の授業は、講義要項（シラバス）に基づき、専門知識を養うため、主体的な学びの力を高めるアクティブ・ラーニング等の多様な授業形態を取り入れた15回の授業を計画的に実施します。

②授業評価

15回授業の終盤において、授業の全受講生を対象とした授業評価アンケートを実施します。このアンケートは、各教員の授業の内容・方法、および学生自身の授業への取り組み等に関する問題点を明らかにし、改善に繋げるものです。

③分析・省察

授業評価アンケートの分析結果を集計し、各教員へ返却します。教員は、この集計結果を個々人で分析・省察のうえ、自身の授業の改善点等を個人点検・評価報告書（ティーチング・ポートフォリオ）に記録します。

④授業改善

各教員は、授業の質向上・改善を図るため、次年度の講義要項（シラバス）に改善点を反映し、授業計画を策定します。